

平成23年度博物館施設評価シート

施設名 歴史と民俗の博物館

評価基準	
目標値の達成度(100%以上)	A
目標値の達成度(80%~99%)	B
目標値の達成度(80%未満)	C

数値化共通項目(全館共通)

	視点	項目	指標	目標値		評価	目標値の設定根拠	
				達成値			特記事項	
1	利用状況	入館者	一日あたりの平均入館者数	486	人	B	472人×103%	
				437	人		年間開館日数 305日 総観覧者数133,160人	
2	利用状況	常設展観覧者	一日あたりの平均観覧者数	142	人	A	149人×95%	
				160	人		年間開館日数 305日 総観覧者数48,658人	
3	利用状況	情報提供サービス	年間レファレンス対応件数	305	件	C	213件×143%	
				109	件			
4	利用状況	インターネットの活用	年間HPアクセス件数	111,361	件	A	86,326件×129%	
				286,377	件		年間更新件数 221件	
5	広聴・広報	事業情報の発信	対マスコミ情報発信件数	312	件	A	186件×168%	
				396	件		年間掲載件数 117件	
6	効率的運営	経営努力	観覧料および事業等収入額	14,220,000	円	A	当該年度予算計上額	
				17,961,902	円		観覧料8,379,550 その他9,582,352	

評価基準	
チェックリストのクリア数(8割以上)	A
チェックリストのクリア数(5割以上)	B
チェックリストのクリア数(5割以下)	C

必須項目(全館共通)

	視点	項目	指標	実施目標		評価	実施目標の設定根拠	
				達成値			特記事項	
1	資料の収集・保管	資料の収集	収集方針に基づいた継続的な収集事業の実施	12	件	A	別紙チェックリストによる	
				12	件			
2	資料の収集・保管	資料の保存・管理	適切な保存・管理の実施	17	件	A	別紙チェックリストによる	
				17	件			
3	展示・教育普及	資料の活用	展示・公開・貸出等での資料活用状況	10	件	A	別紙チェックリストによる	
				8	件			
4	展示・教育普及	常設展示	来館者に配慮した展示運営	10	件	A	別紙チェックリストによる	
				10	件			
5	展示・教育普及	学習支援事業	参加者に配慮した事業運営	9	件	A	別紙チェックリストによる	
				9	件			
6	連携・協働	県民との連携・協働	連携・協働の実施状況	7	件	A	別紙チェックリストによる	
				7	件			
7	調査研究	調査研究活動	活動状況および成果の公開状況	10	件	A	別紙チェックリストによる	
				10	件			
8	施設・アメニティー	快適空間の提供	施設・設備の改善状況	13	件	A	別紙チェックリストによる	
				12	件			
9	施設の活用	施設の活用・活用	施設の活用・活用状況	6	件	A	別紙チェックリストによる	
				6	件			

評価基準	
チェックリストのクリア数(8割以上)	A
チェックリストのクリア数(5割以上)	B
チェックリストのクリア数(5割以下)	C

館別独自項目

	視点	項目	指標	実施目標		評価	実施目標の設定根拠
				達成度			特記事項
1	魅力ある展示	特別展・企画展事業の実施	歴史・民俗・古美術をテーマとした全国レベルの特別展・企画展の実施状況	8	件	A	別紙チェックリストによる
				8	件		
2	中核的施設の役割	中核的施設としての活動	中核的施設としての活動状況	6	件	A	別紙チェックリストによる
				6	件		
3	多様な学習支援プログラムの提供	ゆめ・体験ひろばの運営	機能や特色を生かした体験プログラムの実施状況	8	件	A	別紙チェックリストによる
				8	件		
4	文化遺産の次世代継承	伝統文化の記録・公開・継承	記録・公開・継承事業の実施状況	7	件	B	別紙チェックリストによる
				5	件		

年度内に取り組んだ重点事業、新たな取り組み等

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「ミュージアムヴィレッジ大宮公園」整備推進事業 平成23年度文化庁ミュージアム活性化支援事業に採択され、その補助金を得て、近隣9施設と実行委員会を構成し、ガイドブックの作成、連続講座、共同展等の連携事業を実施した。 ・歴史と民俗の博物館リフレッシュ事業 地域活性化交付金の補助金を得て、弥生時代復元住居の整備、館内情報提供用の電子ボードの設置、展示ケースの更新を行った。
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「ミュージアムヴィレッジ大宮公園」整備推進事業 エリア全体としての情報発信力が強化されるとともに、連携による魅力ある事業創出により新たな利用者層の開拓に資することが出来た。 ・歴史と民俗の博物館リフレッシュ事業 入館動線にそった施設・設備や展示環境の整備を一体的に行うことにより、博物館のイメージアップを図るとともに、来館者のサービス向上に資することが出来た。

基礎データ

職員数 (学芸員数)	37人 (24人)	総予算額 (人件費を除く)	102,751,000円	職員一人あたりの県民人口	19,5万人
収蔵資料総点数	121,522点	事業経費 (上記の内数)	69,915,000円	利用者一人あたりのコスト (平成22年度)	1,021円
平成22年度 収集資料点数	74点	特定財源予算額 (うち観覧料収入)	14,220,000円 (8,507,000円)	県民人口に対する利用者割合 (平成22年度)	1,29%

(注)平成23年度4月1日現在の埼玉県推計人口は 7,198,706人である

平成23年度 博物館施設 総合評価

施設名 歴史と民俗の博物館

	A評価	B評価	C評価
数値化共通項目	4	1	1
必須項目	9	0	0
館別独自項目	3	1	0
総合評価	93% 【53点÷(19項目×3点)×100】		

自己評価総括

評 価	<p>工事による休館のない一年であった。総合評価では達成度93%で、B評価2項目、C評価1項目とまずまずの数値を確保した。特別展「円空 ところを刻む」の好評等により展示観覧者数と観覧料等の収入額が共に目標を大きく上回ったことは大きな成果であった。その一方で、一日あたりの入館者数が目標を下回り、B評価となった。これは、6、8、9、12、2月の入館者数が平均を下回ったため、8月以外は特別展・企画展の開催のない月である。また、ゆめ・体験ひろばの1日あたりの入場者数が大きく減少したことも一因と考えられる。広報関係では、ホームページアクセス数が大幅に増加した一方、対マスコミ情報発信件数の大幅な増加の反面、掲載数は減少した。</p>
課 題	<p>企画展・特別展の開催期間の増加、もしくは開催期間以外の集客を確保する必要がある。21、22年度の工事休館の影響で離れてしまった学校団体利用の回復や、常設展示の魅力アップを図りたい。レファレンスについては、記録漏れが疑われるため、記録の徹底が必要である。広報面では、単に件数を増やすだけでなく、掲載に結び付く効果的な情報発信を行う必要がある。</p>
対 応 の 方 向	<p>平成24年度は企画展の開催数を増やすこととした。充実した内容の展示を行うことで、展示観覧者数、観覧料収入の増加を図る。また、団体利用の増加に向けて引き続き広報に努めると共に、学校にとってさらに利用しやすい施設とするための現状分析を行い、必要な改善を行いたい。</p>

評価委員総括

評 価 小 委 員 コ メ ン ト	<p>「ミュージアムヴィレッジ大宮公園」整備推進事業、「歴史と民俗の博物館リフレッシュ事業」の導入により、ソフト・ハード面に於ける博物館活動の基盤整備が進められたことには一定の評価が与えられるが、特別展・企画展開催期間以外の入館者数減少傾向という事実は、その目標と成果がめざしたところとリンクしていなかったことを示すものであり、改めて冷静な状況分析を行う必要があると思われる。展示事業において、特別展・企画展と常設展は車の両輪であり、課題に挙げられたとおり、学習支援事業を含め「魅力ある常設展づくり」をさらに一層研究・推進されることを要望したい。一般県民、学校団体等の利用回復は、それと連動するものと考えられる。</p>
---	--